

【平成26年10月開講】



プロフェッサー講座 受講生募集

©K.Okawara・Jet Inoue

講座 No.	テーマ	講師名	講座概要
1	正しい「日本語」 コミュニケーション	野口 恵子 文教大学 兼任講師	日常のコミュニケーションで誤って用いられている敬語、文法、慣用語・ことわざ等について一緒に考えます。
2	今熱い!「バイオテクノロジー」 「幹細胞」完全攻略 (前編3回)	福田 公子 首都大学東京 准教授	今いろいろな意味で「幹細胞」が話題になっています。新聞記事などをもっとよく理解するために、幹細胞の意味、何ができるのかなどを紹介します。
	「遺伝子組換え植物」完全攻略 (後編3回)	小柴 共一 首都大学東京 教授	「遺伝子組換え植物」は私たちの生活に深くかかわっています。皆さんが毎日のように食べている食品にも含まれています。青いバラも商品化されています。“遺伝子”って?“組換え”って、どんなものなのか、一緒に考えてみませんか?
3	ジャーナリストが見た「永田町」	平林 壯郎 玉川大学 准教授	永田町で繰り広げられている権力ゲームを一皮めくると、どんな世界が見えてくるのでしょうか。日本の政治についてまわる固有の問題からお話したいと思います。
4	「法」と人間	寺田 麻佑 国際基督教大学 准教授	社会の中で法律がどのようなかわりを持っているかにつき、環境・医療などの具体的な例を通して学びます。
5	不安な時代を生きるための 「実存主義」	西山 雄二 首都大学東京 准教授	3.11の衝撃は日常生活がいとも簡単に崩れ去る不条理を突きつけた。不安の時代を生き抜くために20世紀半ばに隆盛した実存主義(サルトル、カミュ)を再考します。
6	「環境と生命」 おいしい「魚介類の秘密」 (前編3回)	阿部 宏喜 東京大学 名誉教授	魚介類のおいしさは様々ですが、それは海環境に適応した「かれらの体」に秘密があります。その秘密を知って、よりおいしく海の幸をいただきましょう。
	「生命の起原」を探る (後編3回)	大島 泰郎 東京工業大学 名誉教授 東京薬科大学 名誉教授	ゴールを決めずにマラソンを始められないように、生命の定義なしに生命の起原は研究できません。逆に生命の起原研究から生命とは何かを探ってみましょう。
7	「治療」洋の東西 「麻酔」と治療 (前編3回)	緒方 博丸 獨協医科大学 名誉教授 (麻酔科医)	麻酔科医の勤めは大きく分けて、手術室の麻酔、救急蘇生、ペインクリニックの3つに分かれます。この内容を3回に分けて説明します。
	「漢方薬」 ～多面的な作用とその特徴～ (後編3回)	山田 陽城 東京薬科大学 特任教授 北里大学 名誉教授	現代医療の中で重要な役割を果たしている漢方薬について新薬との相違や作用メカニズム、作用成分等について、その基礎から最前線までを紹介します。

募集期間 平成26年7月15日(火)～先着順

※ 但し7月27日(日)の講座紹介イベントまでに満員となった場合は紹介イベント後、抽選とさせていただきます。

【問合せ先】 いなぎICカレッジ事務局 (稲城市教育委員会 生涯学習課)

〒206-0803 稲城市向陽台4-6-18 城山体験学習館内

tel.042-370-2822 fax.042-379-3665

受付時間 (火曜日～金曜日) 10時～16時

いなぎICカレッジホームページ <http://www.inagiic.net/>

講座紹介イベント



日程：平成26年7月27日(日)
時間：午後1時30分～3時20分

地域振興プラザでの
無料イベント!

このイベントには、10月開講「フロフェッサー講座」にご登壇いただく大学の先生方が一堂に会し、講座内容を各15分程度にまとめて紹介していただきます。是非、先生方のプレゼンテーションをお楽しみください!その場で受講のお申込みもお受けします。100席をご用意いたします。どなたでも無料でご参加になれますので、直接会場へお越しください。

講座 No.1 正しい「日本語」コミュニケーション

【講師】野口 恵子 文教大学 兼任講師

【会場】iプラザ 【時間】午前10:00～11:30

【回数】6回 【受講料】全6回 4,000円

【単位数】1単位 【定員】40名(先着順)

講座内容

相手の言わんとすることをきちんと理解するために、また、書かれていることを正確に読み取るために、日本語力は不可欠です。言うまでもなく、自分の考えを言葉にして口頭ないし文章で人に伝えるのも、日本語力なしにはうまくいきません。つまり、日本語の受信にも発信にも、日本語力がモノを言うのです。普段あまり意識せずに使っている日本語の敬語、文法、語句・表現、慣用句・ことわざなどを、ともに見つめ直しましょう。

〈講師紹介〉のぐち けいこ

1952年愛知県生まれ、東京育ち。青山学院大学仏文科卒、パリ大学留学、東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程単位取得退学。現在文教大学他非常勤講師。主著『かなり気がかりな日本語』(集英社新書)『失礼な敬語』(光文社新書)。

	日程	講座内容
第1回	10/11(土)	文法 ら抜き言葉、さ入れ言葉、助詞の間違いなど
第2回	11/ 8(土)	語句・表現① 誤解を与えかねない語句・表現
第3回	12/13(土)	語句・表現② 慣用句・ことわざなど
第4回	1/10(土)	敬語① 過剰敬語、「させていただく」の濫用など
第5回	2/14(土)	敬語② シンプルかつ礼にかなった敬語とは
第6回	3/14(土)	まとめ 現代日本語コミュニケーション

講座 No.2 今熱い!「バイオテクノロジー」

◆「幹細胞」完全攻略 (前編3回)

◆「遺伝子組換え植物」完全攻略 (後編3回)

【講師】福田 公子 首都大学東京 准教授

【講師】小柴 共一 首都大学東京 教授

講座内容

ES細胞、iPS細胞、STAP細胞、新聞などで連日様々な「幹細胞研究、再生医療」が紹介されています。記事だけ読んでみると、明日にもいろいろな病気が治るんじゃないかと感じてしまいますね。でも、本当のところはどうなのでしょう、そもそも幹細胞って何でしょうか?どうやって見つかったのでしょうか?マスコミがよく使う「万能細胞」って正しいのでしょうか?じつは再生医療は既に行われており、そこでは私たちの体の中にある幹細胞を使っています。「幹細胞」を完全攻略して、再生医療に対するより深い知識をつけましょう。

講座内容

今日、遺伝子組換え植物は特にトウモロコシや大豆などの農作物を中心に世界各地で生産され、それらを原材料として様々な食品が作られています。日本では栽培の規制が厳しく、海外から種子や加工後の製品(植物油など)として輸入されています。遺伝子組換え作物は、生産過程の効率化など優れた面がある一方で、多くの問題点が指摘されています。この講座では、「遺伝子組換え植物」とは何なのかをまず理解したうえで、私たちがどのように接していけばいいのかを考える場にしたいと思います。また、地球環境問題が深刻化する中で、「植物」の役割を再度考える場にもしたいと考えています。3回ですが、聴講生の皆様と気楽に話し合える雰囲気です。進めていきましょう。

【会場】iプラザ 【時間】午後1:30～3:00 【受講料】全6回 4,000円 【単位数】1単位 【定員】40名(先着順)

	日程	講座内容
第1回	10/11(土)	発生と幹細胞 幹細胞って何、どうやって見つかったの?
第2回	11/ 8(土)	体性幹細胞 私たちの体の中の幹細胞
第3回	12/13(土)	胚性、人工幹細胞 再生医療はどう応用される?

	日程	講座内容
第1回	1/10(土)	「遺伝子」「DNA」って、なに?
第2回	2/14(土)	「遺伝子組換え植物」は、どうやって作る? どんなものがある?
第3回	3/14(土)	「遺伝子組換え植物」について、みんなで考えよう。

〈講師紹介〉ふくだ きみこ

東京大学大学院理学系研究科動物学専攻博士課程修了。理学博士。専門は発生生物学。腸や胃の細胞がどのようにできてくるのかを研究中。

〈講師紹介〉こしば ともかず

東京生まれ。北海道大学理学部卒業、都立大学大学院理学研究科修了。理学博士。専門:植物ホルモン、植物環境応答。早稲田塾“Good Professor”。主な著書:「新しい植物ホルモンの科学」(講談社)。HP: <http://www.biol.se.tmu.ac.jp/labo.asp?ID=horcel>

講座 No.3

ジャーナリストが見た「永田町」

【講師】 平林 壯郎 玉川大学 准教授

【会場】 地域振興プラザ 【受講料】 全6回 4,000円

【時間】 午前10:00～11:30 第5回目は午後1:00～2:30予定

【単位数】 1単位

【定員】 50名(先着順)

講座内容

まじめに毎日よくやっていると政治家に満点をつける人はまずいないでしょう。でも、彼らもそれなりに勉強をし、地元を回って支持者の話をきくのに懸命なのです。なにしろ次の選挙に落ちれば「タダの人」になるのですから。そういう彼らの舞台が永田町です。そこで日本の政治の質と行方が決まるのです。彼らが織りなす世界のいくつかの問題を私の経験も含めてお話ししたいと思います。もちろん、日本の政治の問題は、結局は永田町に彼らを送り込んでいる私たちが有権者自身の責任であるということをご前提にしながら、です。

〈講師紹介〉 ひらばやし たけお

東京生まれ。立教大学法学部卒。毎日新聞政治部で首相官邸や自民党、野党、旧文部省などを担当。政治部編集委員、世論調査室長。「週刊金曜日」や月刊誌「教育評論」などで政治コラムも担当。著書に「政治を見抜く眼」(日本地域社会研究所)。

日程		講座内容
第1回	10/19(日)	安倍さん、石破さん…世襲議員はどうして多い
第2回	12/14(日)	金権スキャンダルはなぜ起きる
第3回	1/18(日)	「国対政治」ってなんだらう
第4回	2/22(日)	退陣まで高支持率だった小泉政権の不思議
第5回	2/22(日)	民主党政権、大失敗の理由
第6回	3/22(日)	自民政権はこのまま続くのか

講座 No.4

「法」と人間

【講師】 寺田 麻佑 国際基督教大学 准教授

【会場】 地域振興プラザ 【時間】 午後1:30～3:00

【回数】 3回

【受講料】 全3回 2,000円

【単位数】 0.5単位

【定員】 50名 (先着順)

講座内容

社会の中の諸問題の中で、環境問題、医療問題などを取り上げて学びます。第一回においては、ドイツにおける移民の取り扱いを日本の問題と比較し、移民政策について考えます。第二回の環境問題と法においては、第一回東京オリンピックの際の道路拡張計画で切られてしまう可能性があった日光東照宮の近隣の杉群がどのように残ったのか等、環境問題を学びます。第三回においては、安楽死の問題や医師と倫理の問題など、医療にまつわる法的諸問題について学びつつ現代社会の法的問題を考えます。

〈講師紹介〉 てらだ まゆ

米国ベイツ大学留学(平澤和重記念奨学生)。国連英検特A級。2006年慶應義塾大学大学院法務研究科修了(法務博士)。2007年司法試験合格。ドイツカッセル大学留学(如水会奨学生)。2012年一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了(博士・法学)。内閣官房及び内閣法制局・内閣府本府入札等監視委員会委員。東京都情報公開・個人情報保護審査会委員。行政法を専門としています。

日程		講座内容
第1回	10/19(日)	移民問題—ドイツ社会と日本の法
第2回	11/16(日)	環境問題と法
第3回	12/14(日)	医療問題と法

講座 No.5

不安な時代を生きるための「実存主義」 《1月開講講座》

【講師】 西山 雄二 首都大学東京 准教授

【会場】 地域振興プラザ 【受講料】 全3回 2,000円

【時間】 午後1:30～3:00 第3回目は3:10～4:40予定

【単位数】 0.5単位

【定員】 50名(先着順)

講座内容

3.11の衝撃は日常生活がいとも簡単に崩れ去る不条理を突きつけた。不安の時代を生き抜くために、本講義では20世紀半ばに隆盛したフランスの実存主義を再考します。サルトル『実存主義は何か』、カミュ『ペスト』を扱いながら、不安、不条理、自由、責任といった問題について考えます。

〈講師紹介〉 にしやま ゆうじ

専攻は20世紀フランス思想・文学。パリ国際哲学コレージュのプログラム・ディレクター。著書に、『哲学への権利』『異議申し立てとしての文学』『哲学と大学』『人文学と制度』など。近刊に『カタストロフィと人文学』。

日程		講座内容
第1回	1/18(日)	サルトル『実存主義は何か』を読む—実存と責任
第2回	2/1(日)	カミュ『ペスト』を読む—不条理と反抗
第3回	2/1(日)	カミュ『ペスト』を読む—不条理と反抗

◆おいしい「魚介類の秘密」(前編3回)

〔講師〕 阿部 宏喜 東京大学 名誉教授

講座内容

海は広く、その環境はとて多様です。しかし、あらゆる水圏環境に魚介類はうまく適応し、変化する環境に対して順応しています。カツオ・マグロは一生泳ぎ続け、大洋を横断して回遊し、エビ・カニ・貝類は河口域で日々変化する塩分濃度に耐えています。彼らのおいしさはその並はずれた能力に由来します。また、タイやヒラメは漁獲後の処理、しめ方、貯蔵法によって、より鮮度が保たれ、おいしくなります。体にいいことが世界的に知られた魚介類の、たぐいまれな能力から、かれらのおいしさの秘密を探ってみましょう。

【会場】地域振興プラザ【時間】午前 10:00~11:30【受講料】全6回 4,000円【単位数】1単位【定員】50名(先着順)

日程	講座内容
第1回 10/25(土)	カツオ・マグロのスーパーパワー 高速遊泳・高体温の秘密
第2回 11/22(土)	魚を美味しく食べる極意 環境の影響から貯蔵法まで
第3回 12/20(土)	エビ・カニ・貝類のおいしさの謎 環境塩分・低酸素の魔法

〈講師紹介〉 あべ ひろき

新潟県生まれ。東京大学農学部水産学科・同大学院農学系研究科博士課程修了(農学博士)。元東京大学大学院農学生命科学研究科教授。シーフード生化学研究所主宰。著書は「カツオ・マグロのひみつ」(恒星社厚生閣)、「魚の科学」(朝倉書店)など。

◆「生命の起原」を探る(後編3回)

〔講師〕 大島 泰郎 東京工業大学 名誉教授
東京薬科大学 名誉教授

講座内容

ここでは、生命の起原や進化に関するこれまでの研究の成果から、以下の3課題に絞って生命とは何かを考えてみよう。

- 1) 生命は何から出来ているか。なぜ水が重要なのか。なぜ、遺伝子の本体である核酸は4文字言語系なのか。
- 2) 死とは何か。生死の境を自由に行き来できないのか？その核心が分かれば、スルメは洗面器の中で泳ぎ始めるだろう。
- 3) 地球に似た惑星上では、生命が生まれ、ETに進化するだろう。彼らはどこにいるのだろうか？それとも我々は孤独なのか。

日程	講座内容
第1回 1/24(土)	生命は何から出来ているか。 宇宙にはたんぱく質を使わない生命はあるか？
第2回 2/28(土)	地球上の生命誕生が分かれば、 スルメはイカにもどせる。
第3回 3/28(土)	どこにETはいるのか？ それともわれわれは孤独なのか？

〈講師紹介〉 おおしま たいろう

1935年東京生まれ。東大大学院生物化学専攻博士課程終了、東京工業大学教授、東京薬科大学教授などを経て共和化工(株)環境微生物学研究所所長(現職)。好熱菌など異常環境下生物の研究を専門としている。

◆「麻酔」と治療(前編3回)

〔講師〕 緒方 博丸 獨協医科大学 名誉教授
(麻酔科医)

講座内容

全身麻酔はどうやって行われるのか、眠りから覚醒までを説明します。救急蘇生の実際のやり方を説明します。ペインクリニックの利点、またどの場所が痛い時に有効なのかを説明します。

【会場】地域振興プラザ【受講料】全6回 4,000円

【定員】50名(先着順)【単位数】1単位

【時間】午後 1:30~3:00 (後編)1/24の第2回目は午後 3:10~4:40予定

日程	講座内容
第1回 10/25(土)	麻酔とは
第2回 11/22(土)	救急蘇生とは
第3回 12/20(土)	ペインクリニックとは

〈講師紹介〉 おがた ひろまる

1931年生まれ。麻酔科医。1964年東京大学大学院臨床医学系麻酔科学終了(医学博士)。1996年獨協医科大学名誉教授。2011年叙勲 瑞宝小綬章 受賞。日本麻酔学会専門医。麻酔科標榜医。麻酔指導医。日本抗加齢医学会認定指導医。日本ペインクリニック学会認定専門医。現在、相模原ロイヤルケアセンター施設長。

◆「漢方薬」~多面的な作用とその特徴~(後編3回)

〔講師〕 山田 陽城 東京薬科大学 特任教授
北里大学 名誉教授

講座内容

いくつかの生薬を混合した処方として用いられる漢方薬は、現代医療の中で重要な役割を果たしています。漢方薬と新薬との相違、生体全体に対する修復作用や抗がん剤の副作用軽減など新薬の補完的作用が期待される漢方薬の多面的な作用や特徴、各々の漢方薬に配合される複数の生薬の役割、最先端の科学により解き明かされた漢方薬の作用メカニズムや作用成分などについて、その基礎から最前線までを紹介いたします。また、漢方薬と民間薬、機能性食品との相違、漢方薬の使用上の注意についても実例をあげて解説します。

(内容は前回の講座と一部重複します)

日程	講座内容
第1回 1/24(土)	漢方薬や漢方医学の特異な特徴を新薬や現代医学と比較し現代医療における漢方薬の役割を解説します。
第2回 1/24(土)	漢方薬と民間薬、機能性食品との相違や、漢方薬の使用上の注意点を解説します。
第3回 2/28(土)	漢方薬の効くメカニズムや薬効に関与している成分について、最新の研究成果を踏まえて分かりやすく解説します。

〈講師紹介〉 やまだ はるき

1975年東京薬科大学大学院薬学研究科博士課程修了(薬学博士)後、北里研究所付属東洋医学総合研究所研究部門長、北里大学北里生命科学研究所所長等を歴任。現在北里大学名誉教授、2014年より東京薬科大学特任教授。専門は和漢薬物学。多くの学会賞を受賞。